

第 7 班

1. タイトル：団塊の世代から始まる多彩な地域デビューへの仕組みづくり
2. 報告書の概要：人口減少、少子化、核家族化等により世帯が縮小し、高齢者を家族のみで支えることは困難となる。また独居となった高齢者が地域から孤立することも懸念される。一方、活力ある高齢者が地域に多く存在するものの、活躍の場やきっかけが不足しているという課題がある。そのため、活力ある高齢者の地域社会参加へのきっかけづくりや活動等を支援し、高齢者同士で支え合える地域づくりを目指し政策提言を行う。「退職後の人生の最盛期」であるサード・エイジに着目し、①サード・エイジ応援条例の制定、②参加意欲のステージに合わせたアプローチ、③サード・エイジ予備軍へのアプローチ、④世代の特徴に合わせた施策展開システムの構築、⑤都道府県のサポート機能の強化について提言するものである。
3. 引用している事例：NPO 法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会（高齢者への配食サービス他）、栃木県小山市（三回目の成人式、ボランティアポイント制度）、エセナおおた（リピーター率の高いイベント他）、東京都三鷹市（高齢者の IT スキル活用と NPO との協働）、NPO 法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ（時間預託制度による助け合い）
4. アンケート調査の有無：有（自治大学校第 1 部課程 122 期対象）